

郷土史資料を 一堂に



深澤多市

—郷土研究と真澄研究の偉業—

令和4年4月29日(金)～7月3日(日)

私財をなげうち、『秋田叢書』を刊行。郷土の歴史を後世に守り伝えることに情熱を注いだその半生を貴重な資料とともに紹介します。

観覧
無料

会場 秋田県立博物館 企画展示室

開館時間 午前9時30分～午後4時30分

休館日 月曜日

展示構成

- 第1章 深澤多市の生涯
- 第2章 『秋田叢書』の刊行
- 第3章 漢詩文の学び
- 第4章 官吏生活の中で
- 第5章 地域の研究
- 第6章 真澄全集編纂の試み



深澤多市胸像(深澤義博氏蔵)

 秋田県立博物館

〒010-0124 秋田県秋田市金足鳩崎字後山 52
TEL 018-873-4121 FAX 018-873-4123



深澤多市

明治7年(1874)～昭和9年(1934)

大正時代後半から昭和初期にかけて、郷土史家として広範囲に亘る論考を発表した人物に深澤多市がいます。多市は、秋田関係の古書刊行を目的とした『秋田叢書』の出版、それに、戦国時代に県南地域を領有した小野寺氏の研究で知られています。それらの多くは横手町助役などの官吏生活の中でおこなわれました。

多市の業績の中でも、秋田叢書は昭和初期における「菅江真澄全集」の様相を呈していたこともあり、令和2年(2020)6月、菅江真澄資料センターに深澤多市旧蔵資料が寄贈されました。優に1万通を超える書簡類をはじめ、秋田叢書の原稿や刊行会名簿、学問の基礎となった漢詩文に関わる資料、それに郷土研究の成果を示す刊行物など実に多彩な資料からなります。多市逝去後、夫人から4代に亘って大事に保管されてきた資料です。

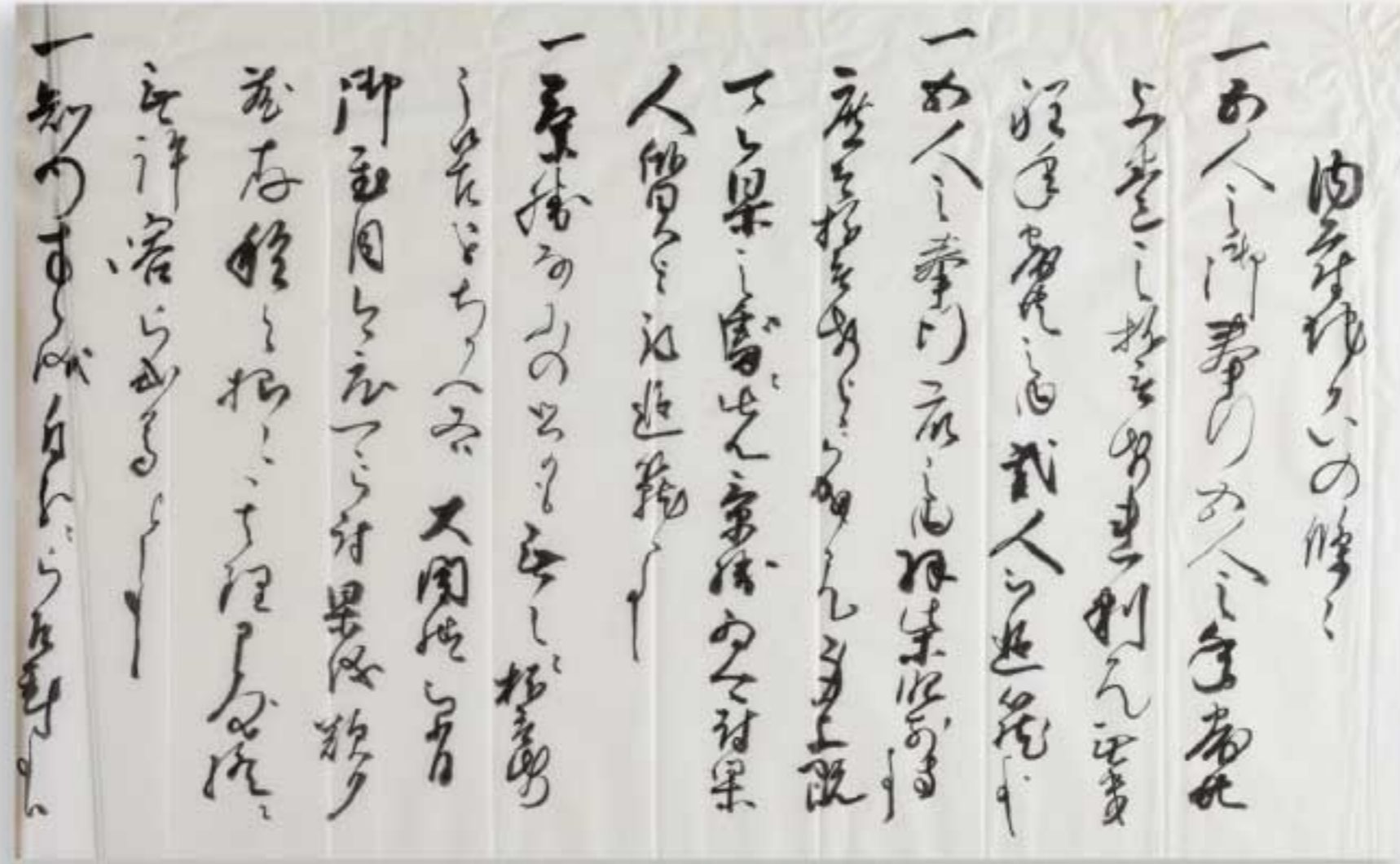
菅江真澄資料センターでは、書簡類の整理を中心にしながら、寄贈資料の整理に当たってきました。当館ではこれまで秋田の先覚者の一人として紹介してきた深澤多市ですが、旧蔵資料等を通して、郷土研究と真澄研究にかけた生涯をあらためて紹介します。



秋田叢書の原稿



月の出羽路仙北郡第25巻図絵(大山順造模写)



秋田家文書影写本



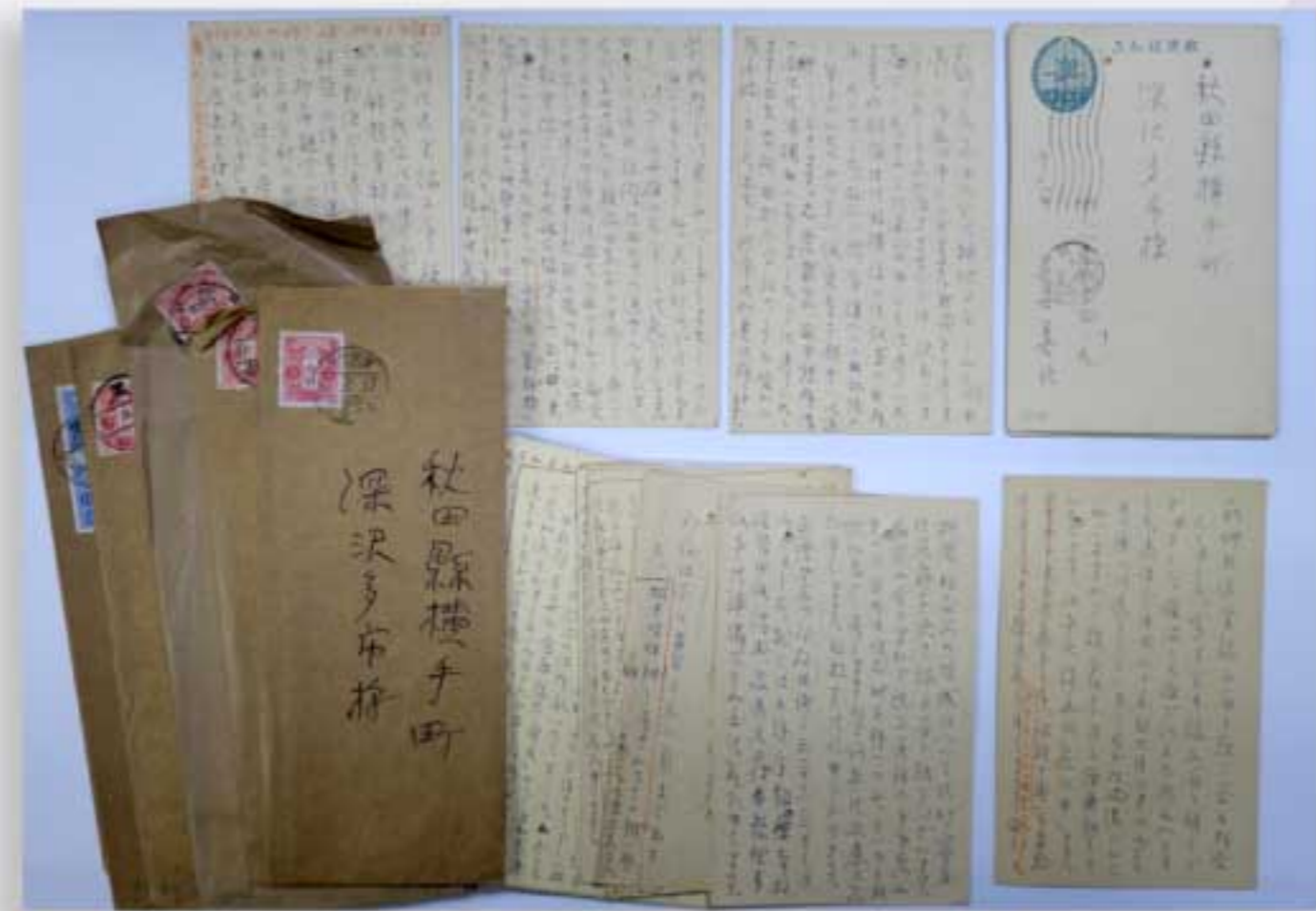
多市印の傘紙



赤星藍城書



石名館遺跡出土考古資料(戎谷南山画)



多市宛書簡(秋田叢書の校正)

関連イベント

▶ 展示解説会

[日時] 5月21日(土)、5月28日(土)
6月11日(土)、6月25日(土)
午前10時から50分程度

[会場] 2階企画展示室

[定員] 20人程度
(団体の場合はお申込みください)

[講師] 松山 修氏(前当館学芸職員)

Access

▶ JR
奥羽線・男鹿線
「追分駅」下車 徒歩20分

▶ バス
秋田中央交通 五城目線
「金足農業高校入口」下車
徒歩15分

▶ 自動車
秋田自動車道
「昭和男鹿半島IC」から10分
「秋田北IC」から15分



ご来館の際は、マスクの着用・手指の消毒など新型コロナウイルス対策にご協力お願いいたします。また、本展および関連イベントの最新情報は、当館のホームページやFacebookにてご確認ください。

秋田県立博物館 で検索

秋田県立博物館

〒010-0124 秋田県秋田市金足鶏崎字後山52
TEL 018-873-4121 / FAX 018-873-4123